4月6日(月)

あなたのうちのキリスト

聖書朗読 ルカ 11:22~44

私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。ガラテヤ 2:20

キリストは、弟子たちに隣人を温めるような光を放ち、弟子たちの近くに来る者たちみんなが、弟子たちの中に「光」を見るような生き方をするように勧めます。私たちは、周りの人たちから見られていることや、私たちが周りの人たちに与える影響が大きいことを忘れてはいけません。人々は私たちがすることを見ていますし、私たちの行ないを真似する人もいます。

「主の歩みにおいて」(チャールズ・M・シェルダン著)の中に、何かを決める前に必ず「イエス様はどうされるか?」と自問する人が書かれています。そう自問することで、どのような違いが生じるのでしょうか? 私たちが、イエス様に思いを置き、自分の行ないすべてにおいて、イエス様に従う者、主のみことば、主の御手、主の御足になることを考えるなら、神様は私たちを強めてくださいます。パウロはこのように書いています。『神は聖徒たちに、この奥義が異邦人の間にあつてどのように栄光に富んだものであるかを、知らせたいと思われたのです。この奥義とは、あなたがたの中におられるキリスト、栄光の望みのことです。』(コロサイ1:27)。私たちの喜びと望みは、私たちのことを見ていて誰かのために、道を明るく照らすことができるのです。

あなたは、自分の行ないによって、
自分が話す言葉によって、
日々、福音の章を書いています。
あなたが書いたものを読んだ人は、
その人の誠実さや真実にかかわらず
あなたが書いた福音を語るのです。

—————P・ジルベルト

讚美歌 第二編 37

祈り 親愛なる神様。主がいつも中心にいてくださる人生を歩むことができますように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

W・M・ワトソン 1961年

今日の方

2015年4月6日~4月12日

翻訳 村越克子

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

4月9日(木)

簡単に投げ出す人と敗者

聖書朗読 ルカ 18:1~8

いつでも祈るべきであり、失望してはならないことを教えるために、イエスは彼らにたとえを話された。 ルカ 18:1

「まあ、そういうこと。それで、私はやめたんだ」と最近、言いませんでしたか？この短い言葉は、たくさんの優れた企画や素晴らしい努力を台無しにすることを意味しています。この言葉は簡単に言われますし、胸のつかえをおろすために言われます。そして、この言葉は、重圧をあなたの背中からおろしてくれるのかもしれませんが、しかし、イエス様は、このような安易な言い逃れから離れるように指摘されます。今日の聖句に書かれている粘り強いやもめのたとえ話の前に書かれている、ルカの言葉をよく読んでみましょう。

このたとえ話の教訓は「粘り強さが得たもの」に凝縮されがちですが、そうすると、主のご指摘を見失うこととなります。イエス様は、忍耐強さや粘り強さだけを命じられているわけではありませんが、あきらめずに祈ることと神様をお願いすることを命じられています。あなたは自分の頭を1日中レンガの壁にぶつけ、それでも日が沈むころになっても、事態は大して改善していないかもしれません。でも、天国のお父様は、変わることなく私たちをかえりみてくださると、イエス様は私たちに確信させてくださいます。御座の前に粘り強く伺うなら、神様は私たちの願いをかなえてくださいます。

ああ、御天のお父様、

あなたは、日々、なんと優しく

私たちを導いてくださることでしょう。

——— トーマス・グリーンフィールド

讃美歌 316

祈り 主イエス様。あなたの愛と私たちをかえりみてくださることを覚え、信仰を持ってお祈りします。

イエス様の御名において。アーメン。

ジェフ・ウォーリング 1989年

4月10日(金)

ド ア

聖書朗読 ルカ 18:18~27

「人にはできないことが、神にはできるのです。」

ルカ 8:27

自分が入ろうとしているドアの外に数人の人が待っていることがあります。そこで、待っている人たちの列の最後に行き、「ドアにカギがかかっているのですか？」と尋ねると「たぶん」という答えが返ってきます。

さて、そこであなたなら、並んでいる人を通り越してドアの所まで行き、カギがかかっているかどうかを確かめるために、ドアを押すか、ノブを回してみますか？それとも、他の誰かがやって来て列をゆっくりと抜けて、みんなが驚いて見守る中、ドアを開いて中に入って行くのをみんなと一緒に待ちますか？

ドアが閉まっていて、外で人が待っていると、ドアにはカギがかかっていると思います。でも、そうやって並んでいる人と一緒に待っていると、私たちは大切な機会を逃してしまいます。

私たちの人生には多くのドアがあります。閉まっているドアもありますが、カギがかかっているわけではありません。ドアは開けられるのを待っているのです。主に喜ばれることをする機会、ゴールに向かって進む機会を逃さないようにしましょう。そうでなくても、みんなと一緒に外で待っているのですから、みんなのために何かできる機会を逃さないようにしましょう。

讃美歌 第二編 59

祈り 私たちみんなの主よ。あなたが、ついてきなさいと言われるのを聞いたとき、すべてを捨てる勇気を持てますようお祈りいたします。

イエス様の御名において。アーメン。

シュー・ラザム 1983年

4月11日(土)

苦しんでいる愛の力

聖書朗読 ルカ 23:32~49

わたしが地上から上げられるなら、わたしはすべての人を自分のところに引き寄せます。
ヨハネ 12:32

ある少年が両親と教師の両方ともめていました。どんな指導も罰も、彼の行動には、なんの影響も与えませんでした。ある夏の日、彼は自分がとっても可愛がっている飼い犬に芸を教えようとしていました。犬は疲れていたし、それに暑くて、とても芸を覚えられそうにありませんでした。ついイライラして、少年は犬をけてしまい、犬の口と肩が傷つきました。犬は何が起ったのかわからず、少年の方によるよると歩み寄って、後ろ足で立ち、血のにじむ口で少年の手をなめました。少年はまるで彼の心臓が破裂したかのように、「お母さん、ボク、大変なことをしちゃった！」と叫びながら家に駆け込みました。少年はこのとき、自分のことを愛してくれているものを傷つけることが、どういふことであるかを学びました。

百人隊長は、キリストの十字架を指さしました。十字架に近寄ってきた群衆は、主をあざけりました。しかし、イエス様は御国におられる神様に目を向けられ、『父よ。彼らをお赦してください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。』と祈られました。イエス様が息を引き取られたとき、百人隊長は『この方はまことに神の子であった。』と叫びました(マタイ 27:54)。50日後、十字架のところであざけていた多くの人たちが、最初の福音を聴いて、心を刺され、ペテロとほかの使徒たちに、「兄弟たち。私たちはどうしたらよいのでしょうか」と言ったのです。

讃美歌 第二編 16

祈り お父様。あなたが最初に私を愛してくださったように、あなたを愛することができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

ジェイムズ・E・スミス 1980年

4月12日(日)

驚くべき発見

聖書朗読 ルカ 24:1~12

「聖なるかな、聖なるかな、聖なるかな。神であられる主、万物の支配者、昔いまし、今いまし、後に来られる方。」
黙示録 4:8

女性たちにとって、空っぽの墓を見つけたことは、驚くべき発見の最初であり、すべての弟子にとっても、そうであったに違いありません。それ以前に体験した以上の発見がありました。しかし、多くの人たちと同じように、女たちは自らの限界によって、イエス様のことが見えなくなりました。

ガリラヤ湖の近くに住んでいた群衆は、イエス様の奇跡の御業によって養われ、この世での幸せな国家の王としてイエス様を望んだにすぎませんでした。彼らは、イエス様の霊的な王としての地位の偉大な価値を理解してはいませんでした。ペテロは、イエス様に『あなたは、生ける神の御子キリストです』と信仰告白しましたが(マタイ 16:16)、それは、ペテロが自分の考える救い主のイメージにイエス様を当てはめたものでした。

女性たちは、イエス様の愛にわくわくするほどの喜びを感じていましたし、イエス様が本当に優しいお方であることを示す愛情を心から喜んでいました。女性たちは、準備しておいた香油を持って墓に行き、イエス様の御体を清めることで、イエス様との思い出をたえようとしたのですが、イエス様は墓の中にはいらっしゃいませんでした。イエス様はどこに行かれたのでしょうか？ 罪多いこの世という限界は、神様のいのちを与える力を保つことはできないということを理解できないまま、彼女たちは墓をあとにしました。私たちが探すのは死体ですか？ それともいのちですか？

讃美歌 77

祈り 永遠なるお父様。あなたが全能の神であることを覚え、イエス・キリストの御力によっていのちを受けることができますように、私たちが心の目を開くことができますよう助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

マイク・サンダース 1981年